

募集内容に関する詳細事項【農政課：有機農業推進係】

1 地域の課題

本市は、持続可能な循環型共生社会「さいきオーガニックシティ」の実現に向けて、令和2年3月の「さいきオーガニック憲章」に続き、農政課では同年4月に「佐伯市有機農業推進計画」を策定しています。

この計画では、有機農業を推進することで期待される効果（農業生産活動に由来する環境負荷への低減や、生物多様性に対する貢献等）を挙げて、有機農業者とその栽培面積の拡大、有機農産物に対する消費者の理解を深める取組等を実施しています。

しかしながら、有機農業は気象状況や病害虫の影響を受けやすく、経営の柱として確立することが容易ではないことから、取組む生産者がまだまだ少ない状況です。

2 ぜひ着任して欲しい理由

本市では、少しずつでも確実に有機農業を実践していく人を求めています。

そのために、地域おこし協力隊として、まずは有機JAS認証取得農家のもとで栽培技術とその経理を習得していただき、同時に有機農業を広く周知して、新規就農希望者等の仲間を増やしていく活動に取組んで欲しいと考えています。

3 地域おこし協力隊に求めるミッション

- ・有機農業の実践及び模擬営農
- ・有機JAS認証取得農家の元での栽培技術及び経理研修
- ・有機栽培を行っている女島第二市民ふれあい農園の管理運営支援
- ・SNS等による情報発信、PR活動

4 求められる隊員像

以下のような地域おこし協力隊を求めています。

- (1) 有機農業の経験または関心があり、将来、就農（農業経営）を考えている方
- (2) 自然の生き物（昆虫など）に触ることが苦手でない方
- (3) 体調管理がしっかりできる方。
農業では、真夏に田畑で作業を行うことがあります。
熱中症などにならないよう水分補給や休憩を取る必要があります。
- (4) スケジュールとお金の管理がしっかりできる方。
特に活動費は、必要な契約と支払を適切に行い、帳簿を管理してください。
- (5) 地域の住民や農業者と積極的に関わっていける方。
- (6) 農政課へ報告・連絡・相談がしっかりできる方。
- (7) SNSでの情報発信が得意な方。

5 地域のサポーター

佐伯市在住の有機JAS認証取得農家が、地域おこし協力隊の活動をサポートします。

6 任期満了後の目標

本市に在住・就農し、農作物の生産・販売を行う有機JAS認証取得農家を目標としています。（半農半エックスも可能です。）